



和歌山県看護協会
かんごちゃん

黒潮

和歌山県看護協会 会報

第164号

令和5年8月発行

CONTENTS

- ・令和5年度通常総会を終えて … 2
- ・優良看護職員厚生労働大臣表彰を
受賞して … 2
- ・日本看護協会会長表彰を受賞して … 3
- ・和歌山県看護協会会長表彰 …… 3
- ・保健師のコーナー …… 4
- ・助産師のコーナー …… 4
- ・看護師のコーナー …… 4
- ・地域連携のコーナー …… 5
- ・フレッシュナース …… 5
- ・私の病院の災害対策
災害拠点病院としての取り組み
(トピックス 2023) … 6～7
- ・訪問看護ステーションだより … 8
- ・医療安全数珠つなぎ …… 8
- ・リレーエッセイ 友達の輪 …… 8
- ・私の“Happy Time” …… 8
- ・施設だより …… 9
- ・プレゼント …… 9
- ・「看護研究」指導・サポート研修…10
- ・プラチナナース対象再就業促進研修…10
- ・「母子のための地域包括ケア病棟
推進に向けた実態調査」報告 …11
- ・令和5年度
役員および各委員会名簿 ……12



社会医療法人 三車会 ▶ <施設だより> (9ページ掲載)



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 和歌山県看護協会

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 東 直子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

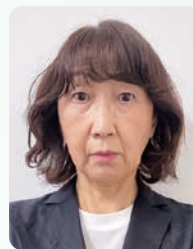
和歌山県看護協会会員数

令和5年8月1日現在 登録者数

会員総数	6,243名
名誉会員	2名
保健師	140名
助産師	211名
看護師	5,788名
准看護師	102名

令和5年度通常総会を終えて

公益社団法人 和歌山県看護協会 副会長 竜田 登代美



会員の皆様におかれましては、平素より協会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの台風2号により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。犠牲となられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被害にあわれた皆様の被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症対策におきましては、3年を越え、感染症法に基づく2類感染症から5類感染症に移行し、社会生活は徐々に日常を取り戻しつつありますが、未だ予断を許さない状況が続いております。この場をお借りして、あらゆる現場で活躍する看護職の皆様に改めて敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度の通常総会は6月24日(土)、4年ぶりに県民文化会館で開催し、今年度におきましても引き続き①看護の質の向上、②看護職がいきいきと働き続けられる環境づくり、③看護領域の開発・発展の3つの使命として下記の6つの重点事業が承認されました。

1. 看護実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進
3. 県民の健康な生活の実現の推進
4. 地域包括ケアシステムの構築と推進
5. 保健師活動の体制整備と機能強化
6. 助産実践能力強化とその体制整備

新たな事業としましては、災害支援ナースにおいて、従来の災害対応に新興感染症対応が加わります。それに伴い養成研修をリニューアルし、養成及び登録者の促進を図るとともに行政と連携のもと応援派遣を行っていきます。また、当協会が主催する研修の申し込みは、システム(マナブル)を活用し、効果的かつ効率的な研修実施を図って

いきます。さらに、入会促進を図るため看護師等学校養成所へ出向き、新看護職対象にPR活動に努めていきます。

和歌山県において他都道府県よりも少子超高齢化・人口減少が加速する中、2025年が目前に迫っています。来年度からは第8次保健医療計画、地域医療構想や第9次老人福祉計画、介護保険事業(支援)計画等の策定により医療提供体制が変化してきます。生産年齢人口が激減する2040年を見据え、誰もが健康長寿と活躍できる社会を目指すことがより重要になります。看護職として地域の現状を捉え、将来に向き合い具体的に体制を整える重要な時期にさしかかっています。会員の皆様の声を十分反映し、看護職能団体として計画策定に参画し、高度急性期から在宅医療・介護をつなぐ医療供給体制の構築と全ての県民の方々が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう支援していきたいと考えております。

また、大きな国の動きとして、日本看護協会の要望活動の成果により、昨年度の診療報酬の改定により「看護職員処遇改善評価料」が新設されました。さらに、国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表が改正され、「看護師のキャリアアップに伴う処遇改善」が今年度から施行されることになりました。引き続き、地域の人々の健康を守る看護職への支援を進めていきたいと思っております。

最後になりましたが、県民から信頼される職能団体として、看護の専門性を発揮し社会的役割を果たしていくため、会員の一人ひとりの自律的な看護への取組みの促進と関係機関や関係団体との連携・協働を行ってまいります。さらに、若い世代に看護職へのあこがれを抱いていただけるよう、また多くの看護職の仲間にも会員になっていただけるよう協会活動を一層進めてまいりますので、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

優良看護職員厚生労働大臣表彰を受賞して

この度、栄えある賞をいただき身に余る光栄と感激しております。

同時に、一看護師として、ただただ長く働いていただけなのにと恐縮しております。

このような素晴らしい賞をいただけたのも、私個人の力ではなく先輩諸氏のご指導、一緒に働いた仲間たちの支えがあったのことに深く感謝しております。

微力ではありますが、今後も看護師としてお役に立てるよう頑張りたいと思っております。ありがとうございました。



黒田 美也子

日本看護協会長表彰を受賞して

この度、日本看護協会長表彰を賜り、身に余る光栄に存じます。ご推奨くださいました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。助産師として働き始めての40年余りを振り返りましても、私自身で成し得たことは何一つなく、健康に恵まれ上司や先輩、同僚に支えられて励んでこられたことにあらためて感謝しています。

現在、助産師教育に携わり、一途に助産師という仕事に夢を持ち勉学に励む若者たちにとって、夢を描ける看護界であってほしいと願っています。今後も微力ながら和歌山県看護協会に役立てるよう励んでまいります。



岡本 恭子

和歌山県看護協会長表彰

表彰された皆さんの声を聞いてみました！

- ① 抱負・モットー ② 後輩に伝えたい一言



- ① 思いやり、笑門来福
② 息抜きしながら前向きに役割を果たす

和歌山県難病・子ども保健相談支援センター 中村 幸美

- ① 無理はせず、自分にできることを確実に
② 願い続ければ夢はかなう。準備は怠らず

日本赤十字社和歌山医療センター 畑下 眞守美

- ① 謙虚に、誠実に、どこまでも前向きに！
② 看護の道を決意した時のことを忘れないで

公立那賀病院 梅田 智子

- ① 発想と実行は楽観的に、計画は慎重に
② 相手を大切に思い、丁寧な看護ケアを

日本赤十字社和歌山医療センター 赤眞 絵美

- ① 暗い暗いと言うよりも進んで灯りをつけましょう
② 百聞は一見に如かず

和歌山県立医科大学附属病院 森澤 祐己子

- ① 常に感謝の気持ちを忘れない
② あきらめず、目標に向かって一步一步進もう

和歌山県立医科大学附属病院 大浦 泰代

- ① 気負わず、貫き徹する力と柔軟さを纏う
② 時間は誰にも等しい、大切に活かして

和歌山県立医科大学保健看護学部 岩根 直美

- ① なすべきことをなす
② 看護の喜びを感じられる看護師になって下さい

和歌山労災病院 伊都 香

- ① 笑顔で楽しく感謝の心で
② とともに笑い、思いやる

国保野上厚生総合病院 田口 真理子

- ① 寄り添うことは、患者をよく知ること
② チーム医療は「感謝」と「思いやり」

有田市立病院 森田 美千子

- ① 転げたら立つ、立ったら歩くの精神
② 微笑みと、思いやりの心を忘れずに

ひだか病院 井口 寿美

- ① 雲外蒼天：雲の向こうには必ず光がある
② 心技体をバランスよく磨くことは大切です

紀南病院 岡地 美代

保健師のコーナー

保健師職能委員 橋本保健所 笹井 涼香



令和3年度より保健師職能委員に就任し、今年度で3年目を迎えます。

保健師職能委員会では、住民が健康で安心して暮らせる地域をつくるため、保健師の連携強化、資質の向上を図り、いきいきと元気に活動することを目指しています。

初めは保健師職能委員会ではどのような活動を行っているのだろうと不安もありましたが、看護協会や職能委員長をはじめ委員の方々にご教示いただきながら、職能委員として活動しております。

私は保健師として就職し4年目になります。働きだした頃はわからないことだらけのスタートでした。先輩方にサポートしてもらい、毎日新たなことを知り、新たな経験をし、発見・

学びの多い日々を過ごしました。現在も、住民との関りを通して、やりがいを感じながら活動を行っています。

私が就職した頃から保健所では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う対応に追われる日々でした。現在、新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまでの2類感染症から5類感染症に移行されたところですが、今回の感染症対応で学んだことを今後の保健師活動にも活かしていきたいと思っています。

保健師職能委員としても皆様と一緒により良い地域づくりをおこなっていただけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

助産師のコーナー

助産師職能委員 紀南病院 原田 加代



助産師職能委員を務めさせていただき2年目となります。近年、県内においても少子化に伴う分娩取り扱い施設の集約化、産科混合病棟の増加など、出産環境は変化しています。

このような社会状況下から、助産師職能委員会では、妊娠・分娩・産褥期のケアの連続性、子育て期の支援を行う場の確保、ケアの機能を強化するため、「母子のための地域包括ケア病棟」の普及・推進に取り組んでいます。「母子のための地域包括ケア病棟」のケア提供体制として、4つの機能である〈院内助産・助産師外来〉〈産科関連病棟におけるユニットマネジメント〉〈医療機関における産後ケア事業〉〈地域連携〉の整備が重要とされています。

昨年度、県下の「母子のための地域包括ケア病棟」推進の現状把握のため、実態調査を実施し、①混合化が進む一方、

ユニットマネジメントができていない施設がわすかである ②産科以外の業務を助産師が担っており、母児の支援に専念できない ③教育体制の整備が不十分 といった結果が得られました。これらを踏まえ、令和5年度は「母子のための地域包括ケア病棟」実現に向けた具体策の検討を活動目標に取り組みます。また、助産師には多様な母子支援や女性の健康支援など、一層の専門性の発揮が求められていることから、女性の生涯の健康づくり支援を見据えたウィメンズヘルスケア能力の向上も目指したいと考えております。今後も皆様のご協力と、多くの研修参加をお待ちしています。

看護師のコーナー

看護師職能委員Ⅰ

看護師職能委員会Ⅰ 委員 岩崎 里奈
社会医療法人黎明会 北出病院



看護師職能委員会Ⅰの活動に参加させていただき2年目になります。当初は職能委員会とは何をするのか理解しておらず、緊張で右往左往しながらの参加でしたが、今では他の委員の方々と楽しく活動しています。活動内容は、1. 病院領域における看護師の質向上のための研修会等の企画、実施 2. 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る 3. 看護師職能の活動に関する実態調査を行っています。

今年度の研修会では、准看護師研修会、三職能研修会、男

性看護師交流会、看護管理者研修を予定しています。特に少数である准看護師や男性看護師の交流の場として参加者は少ないですが、今年度も引き続き開催します。看護職の交流を深め情報交換をすることで、自施設で抱える問題や悩みなど情報を共有し問題解決の糸口になればと思います。今後も明日への活力につながるような研修会を委員の皆様と考えていきたいと思っています。より多くの方の参加をお待ちしています。

看護師職能委員Ⅱ

看護師職能委員会Ⅱ 委員 山下 陽子
介護老人保健施設 恵友サザンホーム



このたび、約10年ぶりに職能委員会Ⅱよりお声をかけていただき、昨年よりメンバーとして再活動させていただくことになりました。H24年看護師職能委員会Ⅱの立ち上げ時は、「介護・福祉関係施設・在宅領域で勤務する看護師は、研修会に参加することが困難」という問題点が分かり、県内各施設で出前研修を行なっていました。しかし、コロナ禍によるWeb研修導入により職能Ⅱ領域の看護師が研修会へ参加し

やすい環境になり、各協会員だけでなく、職能Ⅱ領域で勤務する職員のスキルアップにも繋がったのではないかと思います。

また、新型コロナウイルス感染症は、医療ひっ迫により病院だけの療養ではなく、介護施設や自宅での療養が主体となったことにより、施設での感染症対策の難しさを痛感しました。

家族様と面会も出来ず、状態が改善されないまま施設でお看取りすることもありました。

クラスター発生時は、職員の身体的・精神的・社会的負担軽減も必要でした。5類移行後もコロナウイルスが消滅したのではないということを忘れずに感染対策を継続できればと

考えています。

最後に「住み慣れた地域で安心して適切な医療を受けられる社会」を目指して、介護・福祉施設・在宅領域で勤務する看護師の質の向上と連携に携われるように頑張っていきたいと思っています。

地域連携のコーナー

社会福祉法人恩賜財団

済生会和歌山病院

地域連携室 退院支援看護師 柴崎 寿江



地域連携室の活動、取り組みについて

当院は、一般病棟 160 床と回復期病棟 40 床を有した急性期病院です。地域連携室は室長 1 名、社会福祉士 5 名、退院支援看護師 3 名、事務員 5 名で構成されています。主な業務内容は、診察・検査予約、紹介患者の受入調整、入院・転院調整、入退院支援、医療相談、地域への広報活動とさまざま、地域の中核病院としての役割の重要性を日々感じながら業務にあたっています。

近年、地域包括ケアシステムの構築と連携が推進されるなか、当院でもしっかりと入退院支援が行えるよう業務内容の見直しを行ってきました。連携室の社会福祉士・退院支援看護師が入院早期に患者さん・ご家族との面談を実施、ケアマネジャー、訪問看護師など患者さんを支える地域医療機関と

の情報交換・連携を図りながら、退院後の生活を見据えた支援を行えるよう取り組んでいます。入院時支援では、入院前から寄り添えるよう努めています。また最近では、コロナ禍で積極的に行うことができなかった地域の医療・福祉機関への訪問も再開しました。

当院の病院理念である「私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気になる病院をめざします」をモットーに、今後も地域の医療・福祉機関と顔の見える関係を大切に、信頼される病院を目指し活動していきたいと思っています。また病院と地域をつなぐ役割をしっかりと担い、患者さんが安心して地域で生活できるよう、患者さんがどんなことでも相談できる安心できる場所を提供できるよう努めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

★★★ フレッシュナース ★★★



独立行政法人
労働者健康安全機構
和歌山労災病院

土橋 麻衣

看護師として働き始めて 1 年が経ちました。はじめは分からないことばかりで悩むこともありましたが、優しい先輩方や同期に支えられ 1 年間頑張ることができました。

私は現在、産婦人科・消化器内科・肝臓内科の混合病棟に勤務し、出産から終末期までの患者さんとの関わりの中で日々学びを深めています。産科では、看護師と助産師が協力連携しながら、助産師は分娩助産、看護師は新生児のベビーキャッチ、授乳などを行い、安全に出産、産褥期が経過できるように援助しています。

まだまだ未熟ですが、これからも個々に合わせた看護を行い、患者さんからの「ありがとう。」や「笑顔が嬉しかったよ。」の言葉を励みに関わりを大切にしたいと思っています。



医療法人たちばな会
西岡病院

九鬼 梨佐

看護師になって早 2 年目になりました。看護師になったきっかけは、息子が突如重度身体障がい者になったことです。当時医師から病状や治療方針の説明を受け、気が動転し不安でいた時、担当看護師に支えてもらったお陰で息子と向き合うことが出来るようになりました。

現在一般病棟で入退院が日々繰り返され、手術前後の対応が必要な部署にいます。先輩方にご指導頂き、少しずつ行える業務も増える一方、責任も増えたため上手いかず落ち込むこともあります。しかし、患者さんの立場に立ちチームで連携を取りつつ勉強に励み自分の経験を活かし、患者さんだけでなくその家族にも寄り添える看護師になっていきたいと思っています。



公益社団法人
地域医療振興協会
有田市立病院

山崎 悦子

看護師として働き始めて気がつけば 3 年が経ちました。できることが増えましたが、まだまだ先輩方に助けてもらいながら日々看護に取り組んでいます。

私が就職した頃から新型コロナウイルス感染症が日本で広がり始め、これから看護師としてやっていけるのかという不安と自分が感染してしまうのではないかと恐怖でいっぱいでした。しかし、職場の先輩方、友達、家族などたくさんの方に支えてもらい看護師を続けることができています。有熱外来や感染病棟で勤務した際には、この時期に看護師をしていなければできない経験ができました。先輩方に教わったことやコロナ禍での経験を活かし今後も自分らしく看護師を続けていければいいなと思います。

私の病院の災害対策

災害拠点病院としての取り組み

公立那賀病院 看護師長補佐

前原 竜也

当院是那賀保健医療圏の災害拠点病院であり、実際に災害が起きた場合、災害医療活動の中心的役割を担う必要があります。そのため、当院では災害企画部会が中心となり災害訓練の企画・実施、看護部では災害に関する内容をラダー教育に取り入れスタッフの育成に努めています。また、地域の関係機関が参加する訓練や研修を実施しています。

【院内災害訓練】



◆ 災害訓練について

災害企画部会がシナリオを作成し、院内災害マニュアルに基づいて各エリアの設置、トリアージ、災害カルテの記載、診療エリアでの傷病者の受け入れ、入院や検査までの患者の流れを確認する訓練を実施しています。訓練後は、振り返りを行いマニュアルの見直しを行っています。コロナ禍で訓練規模が縮小するまでは、看護学生に協力を依頼し模擬患者として訓練に参加するなど連携を図っていました。

◆ 看護部災害教育について

災害訓練だけでは参加できないスタッフも多く、災害関連の教育が不十分と考え、看護部ではラダー教育に災害関連の研修を取り入れています。ラダーⅠでは ①災害拠点病院の役割 ②災害医療 ③トリアージについて行っています。ラダーⅡでは災害時に病棟でリーダーシップが発揮できるよう、①災害マニュアルの内容 ②アクションカード ③被災状況の把握と被災状況報告書の記載について行っています。ラダーⅢでは、災害時の各エリアで働けるよう、①各エリアの役割 ②CSCATTT ③傷病者の受け入れから入院までの流れ ④災害カルテの記載方法について行っています。

【近畿地方 DMAT ブロック訓練】



◆ DMAT 訓練について

R3 年 12 月の訓練は、当院に DMAT 活動拠点本部を設置した想定での訓練でした。実際に本部を設置した訓練は初めてであり、通信手段の設置場所、隊員の動線を考慮した本部席の位置を考慮する必要性を知りました。リハビリ室に本部を設置し室内全体を使用する予定でしたが、訓練当日に本部が広すぎる事で情報を共有するのが難しいと考え、予定より縮小し行うことになりました。

また、各 DMAT 隊員の資機材を把握し、その隊にあった任務を選択することの難しさ、任務中の隊員との定期的な情報の更新が出来ず各隊員の状況把握の難しさを知りました。本部は多数施設からの情報が錯綜し情報過多の状況になる事、通信手段に制限があり、円滑に連絡が取れず、情報管理の難しさを経験することができました。

◆ 那賀地域訓練、研修会について

大規模災害では、自施設だけでは対応が困難であり、近隣の医療機関、消防署、保健所などと連携し、情報を共有し速やかに被災者のニーズに対応する必要があります。当院では、以前に近隣の医療施設、消防署、保健所、医師会と那賀地域の合同机上訓練を行いました。他にも災害無線や EMIS 入力などの情報伝達訓練や医師会との研修会も行っていました。



【 那賀地域机上訓練 】



【 那賀医師会 トリアージ研修 】

◆ まとめ

大規模災害時には、他施設や多職種との連携が必要であり、自施設の役割を知る事で地域全体が協働し、ニーズに対応できると考えます。

当院は災害拠点病院であり、災害時は速やかに傷病者を受け入れられ、また、被災によって機能不全に陥らない体制を作れるよう努めていきます。



眠ること、
楽しみませんか。



東洋羽毛関西販売株式会社

〒640-8324 和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2

和歌山営業所

0120-327-766



東洋羽毛について
詳しくはこちらをご覧ください



訪問看護 ステーション だより

和歌山中央医療生活協同組合 訪問看護ステーション 生協みなみ

森下 由理佳

訪問看護ステーション生協みなみは和歌山市中之島に位置し、看護師 9 名・理学療法士 2 名・事務職員 2 名で運営しています。地域猫が癒しとなり業務に専念しています。

看護小規模多機能型居宅介護、ヘルパーステーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、デイサービス、居宅介護事業所があり在宅の暮らしを幅広く援助することが可能です。また、訪問看護認定看護師と皮膚・排泄ケア認定看護師が在籍しています。

実際に勤務することで在宅看護について分かったことがたくさんあります。訪問看護の経験は、幅広い分野の看護につながるのだと思います。訪問看護で学べることをたくさんの方々に知ってもらいたいと感じています。

他の訪問看護ステーション・医療機関と情報交換（悩む事例の相談ごと・使える制度について等々）や、つながりを持ちたいのでぜひお気軽にお声をかけて頂きたいです。よろしくお願いします。

医療安全

数珠つなぎ



和歌山県立医科大学附属病院

藁科 佳代

当院では、医療安全管理者やリスクマネージャーによる定期的な院内巡回を実施しています。環境面の安全点検・医療安全重点課題やマニュアルの実行性について調査を行ない、評価できる点や改善点等を部署にフィードバックしています。

また、現場で抱える倫理的問題をはじめ、患者や医療者からの様々な相談を受けており、必要に応じて多職種カンファレンスを開催する等、他部門と連携しながら医療の質向上に努めています。

次回号に紹介させていただく方は、
国立病院機構 和歌山病院 稲田 ゆり 様です

リレーエッセイ

友達の輪

Vol.73

公益社団法人 地域医療振興協会
有田市立病院 吉田 俊晴



COVID-19 の感染症法上の扱いが 2 類相当から 5 類に法改正されたことで、世の中のコロナ対策は大きく舵をきった。これまでコロナ禍では医療従事者として様々な制限があったが、休日になればまだ幼い子供と一緒に、公園や野山でそれなりに楽しく過ごしてきた。野山では子供に教わる事が多く、誇らしげに「これはね」と色々な事を話してくれる姿に癒された。今年は今まで我慢してくれたことに感謝し、少し冒険して旅行に行ってみたい。

次回は、和歌山県立こころの医療センターの
中尾 武志 様をご紹介します。

私の

“Happy Time”



新宮市立医療センター 平井 鈴世

私には三人の子どもがいます。それぞれ、小学生のころからバレーボールと野球をしました。12 年間に及ぶ追っかけもあと数か月で終わろうとしています。仕事と両立しながらの追っかけは大変でしたが、チームの一員として頑張る姿や意外な一面を見ることで私自身のモチベーションも上がり、楽しみとなっていました。達成感と感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、新たなモチベーションアップの趣味探しスタートです。

次回は、白浜町役場 保健師の
平野 健志 さんの“Happy Time”です。

施設だより

社会医療法人三車会

看護統括 大久保 まさ子



当法人の基本理念は、患者さまの安心・職員の喜び・地域への貢献を三つの車で支え、医療・介護サービスを力強く前進させて行く事です。

この三車会で中心的な役割を担っている貴志川リハビリテーション病院は、24時間の救急医療体制と急性期から回復期、そして在宅生活期と包括的な医療体制の下、総合的なリハビリテーションを実践しています。そして、患者さまにとって負担を掛けずスムーズに医療から介護に移行できるように、「切れ目のないリハビリテーションを提供できる」体制構築に努力しています。

その中の一つとして、2023年1月 人工股関節・膝関節置換術に対してのロボット支援手術「MaKo（メイコー）システム」を導入しました。導入にあたり、人工股関節全置換術後の脱臼率低減、人工膝関節全置換術後の疼痛低減などのメリットがあり、早期リハビリプログラムに着手できます。そして、術後の患者さまにいつもの暮らしを送って頂ける

ように、回復期リハビリテーション病棟でのADL獲得、生活の再構築へと継続ができます。

また、二つ目として、2022年12月には老人保健施設みくるまを開設しました。病院から在宅への通過施設としての役割を担います。介護を必要とする高齢者の自立を支援し、多職種が協働で一人一人の状態や問題点の共通認識を持ち、目標に合わせたサービスの提供をしています。在宅で医療等のサポートが必要な患者さまも、ケアの対象として積極的に受け入れています。

さらに、三つ目として、2023年4月 訪問看護ステーションみくるまを開設しました。リハビリテーション病院併設で、予防や地域等との包括ケアマネジメントを目指しています。

看護は、出会った時から始まりそして繋いでいく。三車会の職員に出会えて良かったと思って頂けるように、日々邁進していきたいと思っています。

第46回

プレゼント!

はがきに ①氏名 ②会員番号 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤勤務先名 ⑥本紙へのご意見・ご要望を明記の上、9月7日(木)までにお送りください。(消印有効・1人1通のみ) 抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先

〒642-0017 海南市南赤坂17 和歌山県看護協会 「8月号プレゼント」係



「クッション」

または

「クオカード」

1,000 円分

5名様に!

どちらか1つ
当たります!

QRコードからも応募できます▶



プレゼント
応募者の
声

- 子育てをしながら働いている方が増えてきています 時短の生活のアイデアや工夫など載せていただけたら参考になるかと思います
- 交流研修で、他院の方との交流の機会があるのが良いです。もう少し回数多ければと思います。和歌山県としてのNP看護師の活動紹介を特集してほしいです。 個人では聴けない、組織としての活動を知りたいです。
- 災害支援ナースというのを初めて知りました。 6/2の大雨での和歌山県 特に紀美野、海南の被害は大変だったので学んでみたいと思いました。

New!!

看護研究をゼロからお手伝いします

昨年度、施設管理者様対象に「看護研究における指導体制と研究サポートに関するアンケート」を実施した結果、施設の規模に関わらず、看護研究を実施する時間的人的余裕や指導者が不足している状況が明らかとなりました。

そこで、看護研究学会委員会として研究全体を指導・サポートする研修を企画しました。令和6年度以降の和歌山県看護研究学会での発表を目標に、ゼロからサポートします。これを機会に、あなたも看護研究をやってみませんか？



指導期間 | 2023年10月～2024年10月（予定）

対象者 | 和歌山県看護研究学会で発表ができる方（グループ参加も可）

定員 | 個人参加も含め、3グループまで

指導形式 | 対面研修とオンライン指導、メールによる添削指導

受講料・その他の詳細な内容は、8月中旬にホームページでお知らせします

看護研究に初めて取り組む方、関心はあるが自信のない方、身近に指導者がいない方等、ぜひご参加ください。

今年度より
始めます！

今後のライフステージを考えたい方

プラチナナースさん対象

再就業
促進研修

テーマ | 「定年を迎える前に今後の生活設計を考える ～生涯働き続けるには～」

日時 | 第1回目 ▶ 11月9日（木）・第2回目 ▶ 11月16日（木）

時間 | 13:30～15:30

* 1回目、2回目は同じ内容です。
ご都合の良い日を選択してご参加ください。

内容 | ①社会保険労務士を講師に迎え、年金、高齢雇用継続給付金など定年前に知っておきたい知識を学ぶ
② 交流会

対象 | おおむね50歳以上の看護職 他希望者
①和歌山県内の病院、診療所、施設などで就業中の方
②和歌山県内で就業を希望する離職中の方

申込方法 |

①研修システムマナブルで申し込む
②ナースセンターに直接電話で申し込む
(073-483-0234・073-483-1005)

* ①か②でお申込みください。



看護技術のオンライン教育・研修に、すぐに導入できる！

eNurseTrainer

eナーストレーナー

NANDA-I
講義動画
新規収録！

●日本看護学校協議会編集の指導案や模擬カルテで、学生の実習をサポート！
（教育機関専用コンテンツ）

- 厚労省ガイドラインに沿った技術項目リストを収録！
- 施設オリジナルの研修内容も設定可能です！



無料トライアル受付中！

詳しくは「eナーストレーナー」特設サイトをご覧ください



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

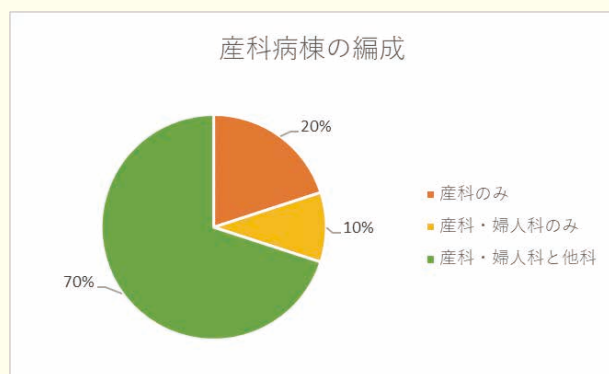
「母子のための地域包括ケア病棟推進に向けた実態調査」

結果概要 報告

令和4年度、和歌山県助産師職能委員会では、和歌山県内の分娩を取り扱う病院、クリニックを対象とした「母子のための地域包括ケア病棟推進に向けた実態調査」を実施しました。回答いただきました結果と委員会において検討した内容を報告いたします。

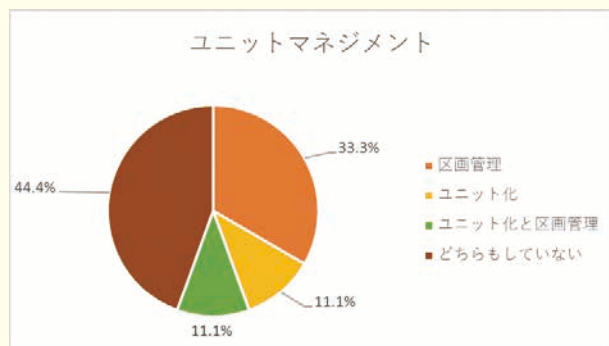
和歌山県内の分娩取り扱い病院とクリニックの15施設中、有効回答は10施設であった。

1. 産科病床率は中央値で52.3%



産科・婦人科と他科と答えた施設が70%
(内訳は眼科・口腔外科・内科・外科・小児科・消化器内科・肝臓内科・整形外科・耳鼻咽喉科・呼吸器内科・皮膚科と多岐にわたる)

2. 混合病棟におけるユニットマネジメント



＜ユニットマネジメントを実施するにあたり困難と感じる理由＞

- ・入退院数の変動が大きい
- ・病院の協力が必要
- ・ベッドコントロールが優先される

3. 産科病棟における助産師率は中央値で48.2%、そのうちアドバンス助産師率は55.6%

4. 院内助産を実施しているのは1施設のみ

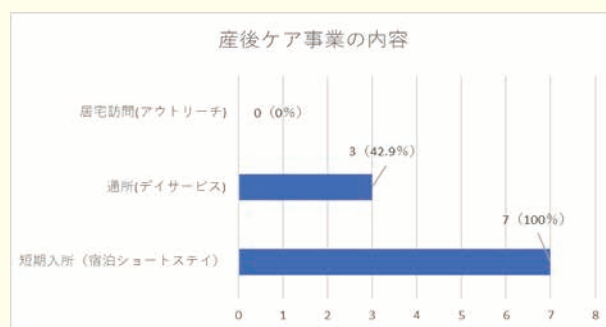
＜院内助産を実施するにあたり困難と感じている理由＞

- ・助産師不足・医師の理解不足・病院の協力不足・教育体制の整備・混合病棟

5. 助産師外来を実施しているのは8施設

ご協力ありがとうございました

6. 産後ケア事業を実施しているのは7施設



＜産後ケア事業を実施するにあたり困難と感じる理由＞

- ・個室数の不足、・助産師数の不足、
- ・教育体制の整備と確立ができていない
- ・対象の負担額が一定でない
- ・近隣に産後ケアを実施する助産院が複数ある

7. 地域連携をさらに推進していくにあたり必要だと思うこと

- ・データベースの統一とコミュニケーションツールの見直し・母子担当保健師、助産師との連絡会議の実施（特定妊婦、ハイリスク妊産婦の場合はよりタイムリーに実施）
- ・周産期関連施設間の定期的な交流・専従で活動できる人材の育成と確保

8. 院外で助産師が活動していること

- ・マタニティークラス、ヨガクラス開催・思春期講座開催・看護学校、大学等、教育機関での講義・地域の保健師を対象とした講演・育児相談

《アンケート結果を受けて見えたこと》

- ・混合病棟化が進み、ユニットマネジメントができていない施設はわずかである。
- ・産科以外の業務を助産師が担っており、母子の支援に専念できない。
- ・教育体制の整備が不足している。

《今後の課題》

- ・施設全体で院内助産・助産師外来の定義を正しく理解する
- ・医師との協働のあり方について理解を得る
- ・行政と連携し、助産師教育・アドバンス助産師の取得推進
- ・産後ケア事業・ユニットマネジメントの推進に向け、実施施設の現状と好事例を発信し、取り組みの足掛かりとする

令和5年度 役員および各委員会名簿

★印は委員長

役 職 名	氏 名
役 員	
会 長	東 岡 直 子
副会長	岡 本 恭 子
副会長	岡 本 登代美
専務理事	岡 室 優
常任理事	松 下 津也子
書記長	湯 上 ひとみ
職能理事(保健師)	尾 崎 裕 美
職能理事(助産師)	寺 本 和 子
職能理事(看護師Ⅰ)	木 村 直 子
職能理事(看護師Ⅱ)	廣 畑 直 子
地区理事(伊都)	西 未 知子
地区理事(那賀)	稲 垣 伊津穂
地区理事(和歌山)	東 田 裕 子
地区理事(海南・海草)	楠 岡 有 美
地区理事(有田)	御 前 松 本
地区理事(日高)	小 谷 香世美
地区理事(田辺)	小 谷 あけみ
地区理事(新宮・串本)	佃 瑞 穂
准看護師理事	嶋 田 順 子
監 事	黒 田 美也子
監 事	石 本 千 珠

職 能 委 員 会	
保健師職能委員会	★ 尾 崎 裕 美 清 水 本 子 辻 辻 和 仁 川 口 日 菜 吉 見 有 香 木 下 涼 加 笹 井 本 子 寺 大 川 子 高 山 本 佳 南 水 出 恵 池 本 幸 美 原 田 文 香 井 口 加 代 井 村 あ ね 木 本 和 美 本 吉 弥 生 堀 野 子 小 早 永 美 鈴 川 賀 岩 木 沙 知 北 端 里 奈 恵 子
助産師職能委員会	★ 寺 大 川 子 高 山 本 佳 南 水 出 恵 池 本 幸 美 原 田 文 香 井 口 加 代 井 村 あ ね 木 本 和 美 本 吉 弥 生 堀 野 子 小 早 永 美 鈴 川 賀 岩 木 沙 知 北 端 里 奈 恵 子
看護師職能委員会Ⅰ	★ 木 本 和 美 本 吉 弥 生 堀 野 子 小 早 永 美 鈴 川 賀 岩 木 沙 知 北 端 里 奈 恵 子

役 職 名	氏 名
看護師職能委員会Ⅱ	★ 廣 畑 直 子 東 佐 藤 房 子 佐 柏 谷 恵 子 並 松 睦 子 高 塚 美 都 里 角 敬 子 山 下 陽 子

常 任 委 員 会	
社会経済福祉委員会	★ 前 田 忠 己 廣 野 優 子 前 西 有 里 子 柴 田 かおり 伊 東 智 子 石 井 千 有 季 井 谷 優 子 武 内 龍 伸 舩 野 真 樹 畑 上 伊 津 代 大 矢 糸 往 里 高 垣 幸 三 島 田 紀 子 仁 岡 本 雅 絵 北 坂 武 田 治 武 並 松 都 紀 加 山 納 昌 子 山 本 野 美 姫 下 文 佳 山 榎 葉 雅 辻 本 本 子 岩 赤 山 西 科 山 藁 川 北 西 原 中 山 中 横 芝 向 二 河
教育委員会	★ 石 井 千 有 季 井 谷 優 子 武 内 龍 伸 舩 野 真 樹 畑 上 伊 津 代 大 矢 糸 往 里 高 垣 幸 三 島 田 紀 子 仁 岡 本 雅 絵 北 坂 武 田 治 武 並 松 都 紀 加 山 納 昌 子 山 本 野 美 姫 下 文 佳 山 榎 葉 雅 辻 本 本 子 岩 赤 山 西 科 山 藁 川 北 西 原 中 山 中 横 芝 向 二 河
広報委員会	★ 武 並 松 都 紀 加 山 納 昌 子 山 本 野 美 姫 下 文 佳 山 榎 葉 雅 辻 本 本 子 岩 赤 山 西 科 山 藁 川 北 西 原 中 山 中 横 芝 向 二 河
看護研究学会委員会	★ 榎 葉 雅 辻 本 本 子 岩 赤 山 西 科 山 藁 川 北 西 原 中 山 中 横 芝 向 二 河
医療安全対策委員会	★ 藁 川 北 西 原 中 山 中 横 芝 向 二 河
災害看護対策委員会	★ 横 芝 向 二 河

役 職 名	氏 名
特別委員会	林 本 真 紀 柿 本 朋 子
まちの保健室運営委員会	★ 湯 藤 川 由 起 小 藤 原 昌 子 大 川 政 予 寺 甫 恵 大 前 和 美 寺 井 美 都 金 坂 加 寿 打 越 友 美 榎 木 谷 久 山 東 明 子 向 井 君 子 廣 瀬 朱 実 小 松 香 世 上 平 絹 代 角 谷 知 恵 水 田 真 由 日 置 真 弓 阿 部 雅 美 藤 原 亮 介 尾 崎 か 子 竹 本 順 末 汐 崎 子
ナースセンター事業推進委員会	★ 湯 藤 川 由 起 小 藤 原 昌 子 大 川 政 予 寺 甫 恵 大 前 和 美 寺 井 美 都 金 坂 加 寿 打 越 友 美 榎 木 谷 久 山 東 明 子 向 井 君 子 廣 瀬 朱 実 小 松 香 世 上 平 絹 代 角 谷 知 恵 水 田 真 由 日 置 真 弓 阿 部 雅 美 藤 原 亮 介 尾 崎 か 子 竹 本 順 末 汐 崎 子
認定看護管理者教育運営委員会	★ 湯 藤 川 由 起 小 藤 原 昌 子 大 川 政 予 寺 甫 恵 大 前 和 美 寺 井 美 都 金 坂 加 寿 打 越 友 美 榎 木 谷 久 山 東 明 子 向 井 君 子 廣 瀬 朱 実 小 松 香 世 上 平 絹 代 角 谷 知 恵 水 田 真 由 日 置 真 弓 阿 部 雅 美 藤 原 亮 介 尾 崎 か 子 竹 本 順 末 汐 崎 子
認定看護師フォローアップ委員会	★ 湯 藤 川 由 起 小 藤 原 昌 子 大 川 政 予 寺 甫 恵 大 前 和 美 寺 井 美 都 金 坂 加 寿 打 越 友 美 榎 木 谷 久 山 東 明 子 向 井 君 子 廣 瀬 朱 実 小 松 香 世 上 平 絹 代 角 谷 知 恵 水 田 真 由 日 置 真 弓 阿 部 雅 美 藤 原 亮 介 尾 崎 か 子 竹 本 順 末 汐 崎 子

そ の 他 委 員 会	
和歌山認定看護管理者会	★ 仲 澤 妙 美 中 尾 ひろ 子 北 垣 郁 操 魚 崎 博 子 籾 谷 博 子 藤 川 容 子

そ の 他	
推薦委員会	中 尾 恵 里 斎 藤 典 代 東 山 好 美 甲 斐 雅 子 通 阪 紀 子 小 川 上 晃 尾 貞 喜 脇 田 美 宮 本 靖 山 口 力 木 村 有 豊 田 真 紀
選挙管理委員会	中 尾 恵 里 斎 藤 典 代 東 山 好 美 甲 斐 雅 子 通 阪 紀 子 小 川 上 晃 尾 貞 喜 脇 田 美 宮 本 靖 山 口 力 木 村 有 豊 田 真 紀

令和5年度 第1回理事会

日 時：令和5年5月26日(金) 13:30～15:00
場 所：看護研修センター 大ホール

I. 協議事項

- 令和4年度事業実施報告(案)について
- 令和5年度和歌山県看護協会役員及び推薦委員について
- 令和6年度日本看護協会代議員及び予備代議員について
- 令和5年度保健師職能委員会・選挙管理委員会等について
- 令和4年度決算報告並びに監査報告について
- ナース章受章候補者の推薦について

以上承認

II. 報告事項

- 日本看護協会主催会議報告
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- 総会の打合せ
- その他

令和5年度 第2回理事会

日 時：令和5年6月28日(水) 13:30～14:30
場 所：看護研修センター 大ホール

I. 協議事項

- 役員の選定について
- 円滑な事業運営について(理事会などの年間計画について)
- その他

以上承認

II. 報告事項

- 令和5年度事業計画について
- 日本看護協会理事会報告
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他